

令和7年度弘前商工会議所経営発達支援計画事業評価委員会議事録

1. 日 時 令和8年2月26日（木）午後3時00分から午後4時00分まで

2. 場 所 弘前商工会議所会館6階特別会議室

3. 出席者【委員】

土岐 俊二 弘前商工会議所 専務理事  
 佐々木 幸生 弘前市商工部商工労政課 課長  
 澁谷 卓 弘前市商工部産業育成課 課長  
 古屋 洋樹 日本政策金融公庫弘前支店 支店長  
 中村 匡洋 青森県信用保証協会弘前支所 支所長  
 佐藤 雅信 青森県中小企業団体中央会弘前支所 所長  
 山田 貴弘 山田貴弘中小企業診断士事務所 代表  
 栗村 圭一 K-Oneコンサルティング 代表

【事務局】

山本 肇 弘前商工会議所中小企業相談所 所長  
 三上 浩平 " " 経営二課 課長

4. 事業評価

事務局より事業実施状況報告後、委員8名より評価をいただいた。下記の表は、該当する評価を何人行ったかの人数を記載している。

事業項目	評価			
	A	B	C	D
1. 地域の経済動向調査に関する事	8			
2. 経営状況の分析に関する事	3	5		
3. 事業計画策定支援に関する事	7	1		
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	8			
5. 需要動向調査に関する事	4	4		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業	5	3		
7. 他の支援機関との連携を通じた支援	8			
8. ノウハウ等の情報交換	8			

評価基準は、以下のとおり。

A：十分達成 B：概ね達成 C：どちらかというとは達成していない D：未達成

5. 内 容

午後3時定刻開会。

令和7年度事業報告について事務局より資料に基づき令和7年度の実施事業について説明。日々の支援業務、展示会出展事業の成果について報告。各委員の主な意見や助言は次のとおり。

<b>1. 地域の経済動向調査に関する事</b>
①管内の景況動向調査
②地域診断サービスによる調査

【評 価】			
A	B	C	D
8			
【意見・コメント】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査は小規模事業者向けですが、結果を市役所とも共有して活かしてほしい。</li> <li>・良好に実施されている。</li> <li>・事業者の他、各種支援機関においても有益な情報となることから事業の継続を希望する。</li> <li>・定期的な調査であり予定どおりに遂行されている。</li> <li>・ツールを有効に活用し、効果的に実施されているようです。</li> <li>・補助金申請等に必要データを効果的に取得・活用している</li> <li>・タイムリーに実施できており、評価できる。</li> </ul>			

2. 経営状況の分析に関すること			
<ul style="list-style-type: none"> <li>①経営分析を行う事業者の掘り起こし</li> <li>②経営分析の実施と内容</li> </ul>			
【評 価】			
A	B	C	D
3	5		
【意見・コメント】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの反応が鈍っており、持続化補助金は一巡したように思える。</li> <li>・事業者に対し各種支援メニューの提供を目的とする巡回指導は、日々経営課題の解決に悩む事業者に対して極めて有益な方策と考える。今後も同事業の継続により管内事業者の営業継続・成長に寄与することを期待する。</li> <li>・分析ツールの活用によって効率よく実施されている。</li> <li>・マル経融資の際に、効果的に経営分析がなされている。</li> <li>・周知等で課題があれば相談してほしい</li> <li>・目標の90を超えており評価できる。</li> </ul>			

3. 事業計画策定支援に関すること			
<ul style="list-style-type: none"> <li>①「事業計画策定セミナー」の開催</li> <li>②「DX推進セミナー」の開催及び「みらデジ」を活用したデジタル化状況や経営課題の把握</li> <li>③創業計画、事業承継計画など様々な事業計画策定支援の実施</li> </ul>			
【評 価】			
A	B	C	D
7	1		

**【意見・コメント】**

- ・AI セミナーでは調べものだけでなく、Excel のマクロを作らせるなど具体的な内容にしてはいか  
がか。
- ・様々な AI ツールの活用方法を紹介するセミナーの開催が効果的であると考える。
- ・事業計画策定に関する支援の他、DX 等の活用促進に向けた外部機関と連携した取り組みにより、  
対象事業者の業績改善または業績の安定に寄与したものと推察される。
- ・補助金申請時や創業相談などの事業計画策定に支援されている。
- ・AI や DX のセミナーを積極的に行い、計画策定に活かされている。
- ・DX 関連のセミナー等は関心が高いので、ニーズに合った取組を続けてほしい。
- ・DX を推進できており、評価できる。

**4. 事業計画策定後の実施支援に関すること**

- ①事業計画策定支援後のフォローアップ
- ②創業計画・事業承継計画策定後のフォローアップ

**【評 価】**

A	B	C	D
8			

**【意見・コメント】**

- ・売上増加事業者数と利益増加事業者数はフォローアップを増やすことで今後も取り組みを継続し  
ていただきたい。
- ・フォローアップがしっかりと行われている
- ・事業計画は実績との乖離を埋める取り組みを行って初めて、同計画の策定が意義あるものになる  
と考えられる。フォローアップ事業を限られた時間・人員で実施するにあたり、今後も外部支援  
機関と連携した効率的な運用が必要と考えられる。
- ・他の支援機関と連携して事業を実施されている。
- ・専門家、派遣、支援機関との連携により十分なフォローアップがなされている。
- ・フォローアップ等がきめ細かく行われており、効果も現れている。
- ・フォローアップにより企業維持に貢献できており、評価できる。

**5. 需要動向調査に関すること**

- ①店頭での需要動向調査
- ②「津軽の食と産業まつり」での消費者ニーズアンケート調査

**【評 価】**

A	B	C	D
4	4		

**【意見・コメント】**

- ・調査対象事業者数が少なくなっている。忙しくて受け入れられないという事情はあるにしろ、食  
と産業まつりへの出店事業者の効果を測るためにも、事前の交渉をしっかりと把握できるよう  
にして欲しい。

- ・より多くの事業者を活用いただきたい。
- ・店頭での実施したアンケート結果を事業計画に盛り込む取り組みは、商品開発や既存商品のブラッシュアップに向け有益な方策と考えます。同事業を多くの事業者が活用することを希望。
- ・商品アンケートは好反応な結果が多く、一方で回収数が少なく工夫が重要と感じた。
- ・アンケートツールだけではなく、実際に顧客と触れ合うことにより生の声を収集できていると思う。
- ・アンケート結果等をうまく活用しながら、販路開拓や商品開拓につなげてほしい。
- ・弘前の商品を他のエリアに周知することは極めて重要であり、評価できる。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

- ①東京ギフトショー出展事業 (B to B)
- ②地元コミュニティFMとの繋がりを活かした販路開拓 (B to C)
- ③会議所連携を活かした販路開拓 (B to C)
- ④DXに取り組む事業者支援 (B to C 及び B to B)

### 【評価】

A	B	C	D
5	3		

### 【意見・コメント】

- ・ギフトショーの商談が活況だったのは良かったです。成約までに時間がかかることもあるのでフォローアップで支援していただきたい。
- ・より多くの事業者が出展できるようにしていただきたい。
- ・販路拡大機会の創出は事業者にとって最も効果的な支援方策と考える。同事業の継続を要望する。その他、当協会においても他府県協会と連携しWEB商談会を定期的で開催しておりますので、情報共有え連携可能な取り組みがございましたら連携させていただきたい。
- ・東京ギフトショーへ参加してから間もないが、今後の商談に期待が持てる。
- ・展示会、即売会に積極的に出展し、効果成果が十分に見られる。
- ・アンケート結果等をうまく活用しながら、販路開拓や商品開拓につなげてほしい。
- ・弘前の商品を他のエリアに周知することは極めて重要であり、評価できる。

## 7. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換

- ①事業評価委員会
- ②情報交換会
- ③小規模事業経営改善資金推薦団体連絡協議会

### 【評価】

A	B	C	D
8			

### 【意見・コメント】

- ・継続していただきたい。
- ・良好に実施されている。
- ・事業評価委員会では、行政・金融・各種支援機関の委員間で管内事業者の動向や支援状況等について情報共有が行われているなど、貴所の各事業の展開にあたり有益なものとなっていると考えられる。
- ・評価委員会のほか、様々な会合などで情報の共有がされている。
- ・支援期間同士の連携を定期的に行っており、十分に情報共有がなされている。
- ・支援ノウハウの共有ができる体制ができている
- ・地域一体となつての企業支援が重要であり、評価できる。

8. 経営指導員等職員の資質向上に関すること			
①第11回商工会議所経営指導員全国研修会（特定商工会議所中小企業相談所直面問題会議） ②TOASの経営支援機能活用に向けた研修会 ③商圏レポートMieNa（ミーナ）ご活用セミナー【実践編】（オンライン）			
【評価】			
A	B	C	D
8			
【意見・コメント】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続してスキルを向上することに努めてください。</li> <li>・研修会等への参加により、資質の向上に努めている。</li> <li>・各都道府県の商工会議所との情報共有や中小企業大学校を活用した経営指導員のスキル向上等、事業者支援の高度化に向け継続的に取り組まれている。今後も継続的に取り組まれることを期待する。</li> <li>・時代に沿った行動をされていると感じた。</li> <li>・研修会に積極的に参加され、AIやDXなどの最新知識、ノウハウが習得されている。</li> <li>・限られた人員で積極的かつ効果的な取組を展開している</li> <li>・必要な能力開発が実施されており、評価できる。</li> </ul>			

その他事業全体に関して各委員から出た意見は以下のとおり。

**【佐々木委員（弘前市商工労政課）】**

DX関連のセミナーに関してニーズがあるため、chatgpt だけ等ではなく様々な生成 AI についての活用方法について学べるセミナーの開催が望ましいのではないかと。

**【澁谷委員（弘前市産業育成課）】**

小規模事業者にどのようにDX化の有効性について知っていただくかは難しいところであるため、本市と協力しながら事業展開をしていきたい。また、今後市では創業と事業承継関連の情報をHP上に積極的に掲載するため、商工会議所との更なる連携を図っていきたい。

**【古屋委員（日本政策金融公庫）】**

青森県内は IT リテラシーが低いと感じられるため、DX の関連セミナー等の開催は今後も是非続けてほしい。その他、公庫では、バイヤーとのマッチングを実施しているため連携しての実施も可能なのではないかと。

**【中村委員（青森県信用保証協会）】**

SNS や AI の活用のセミナーは非常に重要なテーマであるため引き続きの実施をお願いしたい。当協会でも実施しているものの、若い方々の参加が主であるため今後は年齢層が高い方への参加の促しをどう図るか課題ではないかと思う。その他、当協会でも宮城県、大阪府、三重県のバイヤーとの飲食業限定ではあるが商談会を実施しているため是非連携していければと考えている。

**【佐藤委員（団体中央会）】**

目標数値はあるものの、時代の流れによって注力すべき事業もあるため、引き続き目の前の支援に注力していただきたい。

**【山田委員（中小企業診断士）】**

EC サイトやウェブでの商談会等があるものの、なかなか成約につなげるのは難しく、依然として実際に展示会に出展するアナログな活動が重要であると考えられるため、引き続きギフトショー等の展示会の支援をお願いしたい。

**【栗村委員（中小企業診断士）】**

目標数値はあるものの、全体的に良い商工会議所で活用している商圈分析ミーナは創業者の事業計画策定には非常に有効であるため、創業者支援には是非活用していただきたいため連携しながら支援ができればと考えている。

以上